

Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A

新型コロナウイルス感染症流行におけるコミュニティへの対策支援について

原文: [Our commitment to communities during the COVID-19 pandemic](#)

バイオ医薬品業界を含め、個人、組織を問わず誰もが、この真にグローバルな取り組みに参加しています。当社には人々の生命を救い、生活を改善することに取り組む企業としての特別な責任があります。社員と家族の安全を守り、患者さんへの医薬品やワクチンの供給を確保し、当社のサイエンスの専門性を活かして抗ウイルスへのアプローチの開発に貢献し、医療従事者や医療現場を支援することに注力します。コミュニティにおける当社の具体的な取り組みをいくつかご紹介します。

妊産婦支援

防ぐことの可能な妊産婦の死を根絶するグローバルな取り組み MSD for Mothers を通して、新型コロナウイルスと闘いながら産前産後や出産時の妊産婦のニーズに対応できる医療体制の構築に寄与するため 300 万ドルを提供しています。MSD for Mothers では、新型コロナウイルスの影響を受けている国に資金を充当し、流行が母体の健康に及ぼす課題に対処できるよう支援します。これらの取り組みの詳細については、Scientific American に発表された、MSD for Mothers のリーダーでエグゼクティブディレクターである Mary-Ann Etiebet 博士による論説「[Keeping Pregnant Women Safe During the Pandemic.](#)」をご参照ください。



ニューヨークとニュージャージー州にマスクを寄付

当社はニューヨークとニュージャージー州での感染拡大に対応する緊急対策として、これまでに米国で 80 万枚のサージカルマスクを提供しました。当社では、サージカルマスクを含め、様々な種類のマスクを製造や研究の現場で使用しています。当社が提供可能な個人防護具や医療従事者の皆様にご活用いただけそうなものについて引き続き検討し、保健当局と連携して必要に応じて提供します。



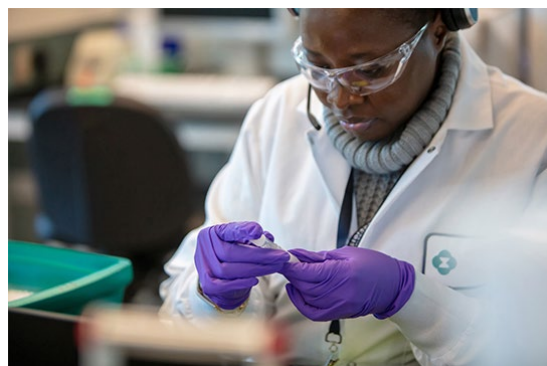
新型コロナウイルス感染症の研究を推進するための連携

当社は新型コロナウイルス感染症のワクチン、診断法(薬)、治療法(薬)の開発、製造、提供を加速するため、ビル&メリンダ・ゲイツ財団およびライフサイエンス企業のコンソーシアムと連携しています。ビル&メリンダ・ゲイツ財団の最高経営責任者である Mark Suzman は、「開発、臨床試験、実用化の技能やノウハウは民間セクターが有しています。その知識と専門性を活かし、可能であればこれを組み合わせ、国の規制当局や世界保健機関と協力して流行曲線を平坦化し、その成果が全世界のすべての人に及ぶようにしたいと考えています」と述べています。



資格を有するボランティアの需要に対応

医師、看護師、検査技師などの医療人材の需要が高まっています。当社では、専門性を有する社員が地域の新型コロナウイルスの医療に貢献できるよう、ボランティア方針を拡大しました。



地域の救援活動を支援

当社では健康格差に対応するため、医療の行き届いていない、弱い立場にあるコミュニティや、基礎疾患を有する患者さんをサポートするため、米国や世界で活動を展開するいくつかの外部団体と連携し、現場で活躍する医療従事者が、深刻な影響を受けている患者さんへの対応や医療体制を強化できるよう支援します。

さらに当社は、感染地域を支援する救援団体に資金を提供しています。以下の組織を支援しています。



- 国際連合財団の COVID-19 Solidarity Response Fund による世界保健機関の支援
- 米国疾病予防管理センター(CDC)の Emergency Response Fund による米国の取り組みの支援
- Chamber of Commerce Foundation(米国商工会議所財団)による米国の小規模事業者の支援

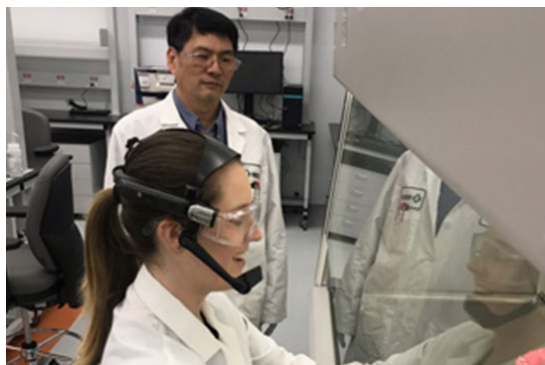
エタノール、そして花を寄付ーオランダでの取り組み

オランダの社員はオスにある施設から 160 リットルのエタノールを寄付しました。これは地域の一般開業医が院内や器具を消毒するために使用されます。また、オランダ国内の花農家はコロナウイルスに関連する航空便の制限により作物を破棄せざるを得ない状況に直面していましたが、オランダの社員はこれらの生産者を支援するために、家や事務所に彩りを添えてもらおうと、600 以上の花束を寄付しました。



テクノロジーでよりスマートに

新型コロナウイルスが流行する中、社員は創意工夫に富む新たな協力体制を構築し、様々な制約の中で混乱を最小限に留めながら業務を継続しています。例えば、バーチャルリアリティ(仮想現実)の「スマートグラス」を活用し、拠点間を素早く接続して連携し、遠隔でのトラブルシューティング、技術移転、トレーニング、バーチャルツアー／検査などを実現しています。



手を清潔にーアイルランドでの取り組み

アイルランドのバリーディーンの社員は 80 リットルのイソプロピルアルコールを寄付し、約 100 リットルの消毒剤を作る材料として開業医の皆様にご活用いただきました。

